

流域治水プロジェクトの フォローアップについて

令和8年2月12日

第11回 九頭竜川・北川流域治水協議会
第8回 福井県二級水系流域治水協議会

流域治水プロジェクトとは

- 「流域治水プロジェクト」は、各水系で重点的に実施する治水対策の全体像をとりまとめたもの

九頭竜川水系流域治水プロジェクト2.0【位置図】

～ダム整備が進んでいる流域だからこそ、洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある流域治水対策～

- 九頭竜川水系では、幸福度日本一の福井を洪水から守るため、近畿で2番目にダムが多い流域だからこそ洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある事前防災対策をより一層推進していくものとし、更に国管理区間においては、戦後最大規模の洪水に対して気候変動による降雨量増加を考慮した規模の洪水でも堤防決壊をさせないように流下させることを目指す。
- 気候変動の影響に伴う降雨量や洪水発生頻度の変化という新たな課題や、流域の土地利用の変遷に伴う保水・遊水地域の減少等を踏まえ、将来にわたって安全な流域を実現するため、特定都市河川浸水被害対策法（以下、「法」）の適用を検討し、さらなる治水対策を推進する。



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、築堤、堤防強化、堤防拡築、粘り強い堤防、捷水路、地下放水路、樋門改修、橋梁架替、足羽川ダム建設、吉野瀬川ダム建設、ダム再生、既設ダムの有効活用、河道内樹木伐採、遊水地
- ・更なる河道改修、更なる洪水調節施設
- ・下水道等の排水施設、雨水貯留浸透施設の整備
- ・利水ダム等15ダムにおける事前放流等の体制構築、実施（関係者：国、福井県、福井市、鯖江市、永平寺町、北陸電力（株）、電源開発（株）等）
- ・砂防堰堤等の整備、治山ダム等の整備
- ・田んぼダム・森林整備・治水効果の検証
- ・調節池・校庭貯留・公園貯留等

■被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討
- ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）の検討
- ・輪中堤（全国初の流域治水型災害復旧）
- ・水害リスクマップの作成
- ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）の検討
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

- 森林整備 既設15ダムの事前放流
- 既設ダムの有効活用
- 治山ダム整備 治水効果の検証
- 河道内樹木伐採 田んぼダム



マイ・タイムライン講習（国）

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの改良
- ・ダム下流河川の避難勧告等の発令に着眼したタイムラインの作成
- ・ふくい県域タイムラインによる防災力向上
- ・水害リスク空白域の解消 内外水結合の水害リスクマップの作成
- ・ハザードマップの更新・周知と説明（想定最大規模の降雨を対象）
- ・市町を超えた広域避難計画の検討
- ・災害時における逃げ遅れをなくするため、避難行動要支援者の避難計画の検討
- ・防災啓発活動を推進させるため、域内全教育委員会へ積極的に働きかける
- ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
- ・高齢者の避難行動の理解促進のための地域包括支援センター・ケアマネジャーとの連携
- ・水位計、量水標、カメラ設置、活用
- ・重要水防施設の情報共有と関係市町による共同点検の実施
- ・洪水時のダムの貯水池の状況を伝えるための手段の充実
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成および避難訓練実施の促進支援
- ・水位周知河川等の見直し・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
- ・庁舎受電設備、非常用発電設備等の浸水対策・水防資材の配備
- ・BIM/CIM適用による三次元モデルの積極的な活用等

赤字黄色ハッチ：R5.3時点からの更新内容

※流域治水プロジェクト2.0で新たに追加した対策については、今後河川整備計画変更の過程でより具体的な対策内容を検討する。

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

位置図



凡例

- 河道掘削（河道拡幅を含む）
- 堤防拡築・築堤
- 堤防強化（浸透）
- 捷水路・地下放水路
- 遊水地
- ダム
- 浸水範囲（整備計画規模洪水）
- S23年7月梅雨前線 堤防決壊箇所（国）
- S28年13号台風 堤防決壊箇所（国）
- H16年福井豪雨 堤防決壊箇所（県）
- 大府管理区間



足羽川ダム建設（国）



九頭竜川上流ダム再生（国）



新出した片給湿地と飛来したコウノトリ

●グリーンインフラの取り組み



田んぼダムの整備（鯖江市）

流域治水プロジェクトのフォローアップ

流域治水協議会の主な実施事項（協議会規約より抜粋）

- ・各流域で行う流域治水の全体像を共有・検討。
- ・河川に関する対策、流域に関する対策、避難・水防等に関する対策を含む、「流域治水プロジェクト」の策定と公表。
- ・**「流域治水プロジェクト」にもとづく対策の実施状況のフォローアップ。**



■流域治水協議会で行うフォローアップ

- ・協議会、幹事会で各機関が実施した当該年度の主な取組事例を共有。
- ・**当該年度までの取組状況を総括的にとりまとめて共有。（令和7年度からの新たな取組）**



流域治水プロジェクト（九頭竜川・北川・二級水系）の取組状況とりまとめ

- 令和7年度は、各項目の定義・分類の再精査と併せて**対象機関に取組状況の確認（実施有無、目標）**を行った上で、幹事会、協議会で共有。



■計画策定済みや対策実施中の取り組みについて、

対策目標の管理のための個票の作成、グラフによる取組の見える化

- ・取り組み毎に対策概要等を**個票にまとめ**、実施状況の共有や取り組みの継承に活用。
- ・数値目標と進捗状況をグラフで表し、**取組の見える化**

流域治水プロジェクト 取組状況（令和7年度末時点）

黒字：国の流域治水施策集に記載されている施策
青字：九頭竜川・北川・二級圏域の流域治水プロジェクト独自の施策

目 的		施 策	No	集計単位	近畿地方整備局			近畿中国 森林管理局	福井県	市町
					福井河川	足羽川	九統			
① 氾 濫 を 防 ぐ ・ 減 ら す	洪水氾濫の防止	河道掘削（水防災・湿地創出含む）	1	m3	●					
		築堤（粘強含む）、引堤、堤防強化、堤防拡築、湖岸堤	2	m	●				●	●
		放水路	3	－					●	○
		ダム（再生、流域総合水管理含む）	4	施設	○	●			●	
		遊水地	5	ha					●	○
		輪中堤	6	m					完	
		捷水路	7	－					◎	○
		樋門改修	8	施設	●					○
		橋梁架替	9	－					●	●
		浚渫（河道維持）	10	－	●				●	●
		ダム事前放流	11	施設			●		完	
	津波・高潮による氾濫の防止	海岸保全施設の整備	12	海岸					完	○
	洪水氾濫の防止	排水施設・ポンプ（河川）	13	施設						●
		排水施設・ポンプ（下水道）	14	施設、m						●
		用排水施設・ポンプ（農業水利施設）	15	施設						△
		排水施設・ポンプ（普通河川・水路）	16	施設						●
	内水の排除									
	河川への流出抑制	雨水貯留浸透施設（調整池・公共施設）	17	m3、m2					●	●
	市街地等の浸水の防止	校庭貯留、公園貯留	18	m3（ha）					○	●
	排水区域内の浸水の防止	雨水貯留浸透施設（下水道）	19	m3、m2						●
	市街地等の浸水防止	雨水貯留浸透施設（民間施設）	20	m3、m2						●
	農地等の浸水の防止	ため池の活用（事前放流含む）	21	施設						●
		田んぼダム	22	ha					●	●
	土砂・洪水氾濫の防止	土砂・洪水氾濫対策（砂防堰堤等の整備）	23	－	完				●	
	流木による被害の防止	流域流木対策	24	－						
		河道内樹木伐採	25	－	●				●	●
	森林の浸透・保水機能の発揮	森林整備	26	－				●	●	●
		治山対策（治山ダム等の整備）	27	－				●	●	●
	貯留機能の保全（浸水の許容）	貯留機能保全区域	28	m2	○				○	○
	水防拠点の整備	水防拠点の整備	29	箇所	○					完
	治水効果の検証	治水効果の検証	30	－	●				○	

※市町欄について、1自治体のみが取り組んでいる場合、その自治体の取り組み状況を記載
※複数市町で取り組みがある場合、以下の順位で取組状況を記載
・●：対策実施中>◎：計画策定済み>○：検討中>△：未検討
・いずれの自治体も対策が完了している場合、完：対策完

凡 例

空白

： 対象外
（対象となる箇所、施設が存在しない）

△

： 未検討
（対象となる箇所、施設はあるが具体の予定、計画なし）

○

： 検討中

◎

： 計画策定済み

●

： 対策実施中

完

： 対策完了

流域治水プロジェクト 取組状況（令和7年度末時点）

黒字：国の流域治水施策集に記載されている施策
青字：九頭竜川・北川・二級圏域の流域治水プロジェクト独自の施策

目 的	施 策	No	集計単位	近畿地方整備局	福井県	市町
				福井河川		
② 被 害 対 象 を 減 ら す	新たな居住に対し、立地を規制する	1	区域	○	○	○
	居住者の人命を守る	2	区域			○
	既存の住居に対し、住まい方を工夫する	3	－			●
	既存の住居に対し、移転を促す	4	区域			△
		5	戸			△
	防災まちづくり	6	指針			●
		7	－			△
	高台まちづくり	8	地区			●
	氾濫拡大の抑制	9	地区			△
	霞堤の機能維持・保全	10	－	●	●	●

※市町欄について、1自治体のみが取り組んでいる場合、その自治体の取り組み状況を記載
※複数市町で取り組みがある場合、以下の順位で取組状況を記載
・●：対策実施中>◎：計画策定済み>○：検討中>△：未検討
・いずれの自治体も対策が完了している場合、完：対策完

凡 例

空白

： 対象外
(対象となる箇所、施設が存在しない)

△

： 未検討
(対象となる箇所、施設はあるが具体の予定、計画なし)

○

◎

●

完

： 対策完了

流域治水プロジェクト 取組状況（令和7年度末時点）

黒字：国の流域治水施策集に記載されている施策
青字：九頭竜川・北川・二級圏域の流域治水プロジェクト独自の施策

目 的		施 策	No	集計単位	近畿地方整備局			福井地方 気象台	福井県	市 町
					福井河川	足羽川	九統			
③ 被害の軽減・早期復旧等	避難の確保（平時）	リスク空白域の解消 （浸水想定区域・ハザードマップ・内外水統合の水害リスクマップの作成）	1	－	完				完	●
		要配慮者利用施設の避難確保計画・訓練	2	－	●				●	●
		計画	関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの改良	3	－					●
				4	－	●	●	●	●	●
			ダム下流河川の避難指示等の発令に着目したタイムラインの作成	5	－					●
			市町を越えた広域避難計画の検討	6	－					△
			地域・企業の連携による避難場所の確保	7	協定					●
			災害時における逃げ遅れをなくすため、避難行動要支援者の個別避難計画の検討	8	－					●
		訓練・支援	関係者間の情報共有体制の確立と情報伝達訓練の実施	9	－	●		●	●	●
			マイタイムライン、コミュニティタイムラインの作成支援	10	－	●			●	●
			ハザードマップ・タイムラインを用いた避難訓練の支援	11	－	●			●	●
			地域防災マップ（マイ防災マップ）の作成支援	12	－	●			●	●
		啓発	ハザードマップの更新・周知	13	－					●
			防災啓発活動を推進させるため、域内全教育委員会へ積極的に働きかける	14	－	完			●	●
			3Dデータを活用した防災啓発活動	15	－				●	●
			小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み	16	－	●		●	●	●
			高齢者の避難行動の理解促進のための地域包括支援センター・ケアマネジャーとの連携	17	－	●			●	●
			重要水防箇所の情報共有と関係市町による共同点検の実施	18	－	●			●	●
			水防資材の配備	19	－	●			●	●
			BIM/CIM適用による三次元モデルの積極的な活用	20	－	○				
	避難の確保（災害時）	迅速・円滑な避難（避難のための情報発信）	21	－	●		●	●	●	●
		洪水時のダムの貯水池の状況を伝えるための手段の充実	22	－			●		●	●
		水位周知河川等の見直し	23	－					●	
		氾濫危険水位等の基準水位の見直し	24	－	完				●	●
		水位計、量水表、カメラ設置 ※市町村の管理河川等に設置、又は市町村で管理しているもの	25	－	完				●	●
	経済影響の軽減等	浸水対策（耐水化・止水壁等）※庁舎受電設備、非常用発電設備等	26	－	完				●	●
	災害復旧	流域治水型災害復旧（遊水地・輪中堤）	27	－					●	
	（洪水氾濫の防止）	災害復旧（遊水地内の迅速な土砂撤去）	28	－						

※市町村欄について、1自治体のみが取り組んでいる場合、その自治体の取り組み状況を記載
※複数市町で取り組みがある場合、以下の順位で取組状況を記載
・●：対策実施中>◎：計画策定済み>○：検討中>△：未検討
・いずれの自治体も対策が完了している場合、完：対策完

凡 例

空白

：対象外
（対象となる箇所、施設が存在しない）

△

：未検討
（対象となる箇所、施設はあるが具体の予定、計画なし）

○

：検討中

◎

：計画策定済み

●

：対策実施中

完

：対策完了

流域治水プロジェクト 取組状況（令和7年度末時点）

黒字：国の流域治水施策集に記載されている施策
青字：九頭竜川・北川・二級圏域の流域治水プロジェクト独自の施策

目 的		施 策	No	集計単位	近畿地方整備局 福井河川	福井県	市町
④ グ リ ー ン イ ン フ ラ の 取 組 み	自然再生 (生育・生息環境の保全・再生)	水環境保全・再生	1	－	●	●	△
		砂礫河原再生	2	－	●		
		福井県流域環境ネットワーク協議会による自然再生の推進	3	－	●		
		河川生物の生態系（水際部の植生環境の再生）に配慮した河道工 事、維持管理	4	－	●	●	●
		浅場造成によるシジミの生育環境の再生	5	－			●
		小わざ魚道の整備	6	－		●	●
	環境学習	小学校などにおける河川環境学習（放流体験、川の生物調査等）	7	－	●	●	●

凡 例

- 空白
- ： 対象外
-
- (対象となる箇所、施設が存在しない)
-
- △

： 未検討
(対象となる箇所、施設はあるが具体の予定、計画なし)
○： 検討中
◎： 計画策定済み
●： 対策実施中
完

： 対策完了

※市町欄について、1自治体のみが取り組んでいる場合、その自治体の取り組み状況を記載
※複数市町で取り組みがある場合、以下の順位で取組状況を記載
・●：対策実施中>◎：計画策定済み>○：検討中>△：未検討
・いずれの自治体も対策が完了している場合、完：対策完

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水氾濫の防止】

対策内容：堤防拡築、堤防強化

対策場所：一級河川九頭竜川、日野川

坂井市木部新保町、福井市天池町、
福井市大瀬町、福井市角折町

位置図



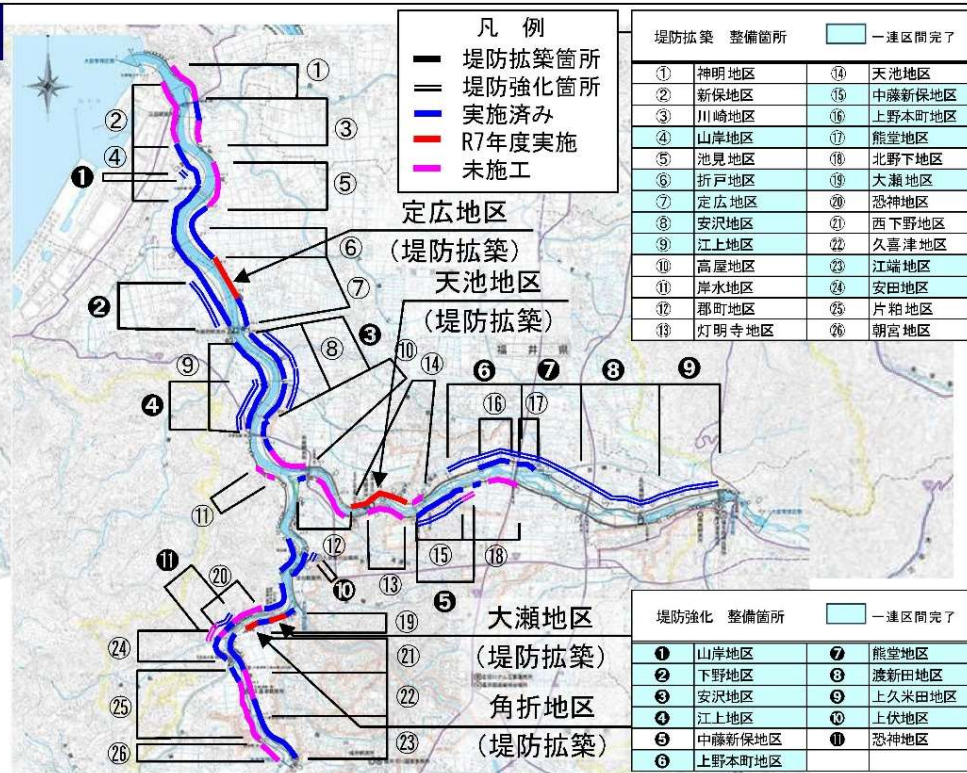
取り組み概要

九頭竜川、日野川は一級河川九頭竜川の本川及び支川で、直轄管理区間は福井市街地をはじめとした2市1町を流れる河川である。

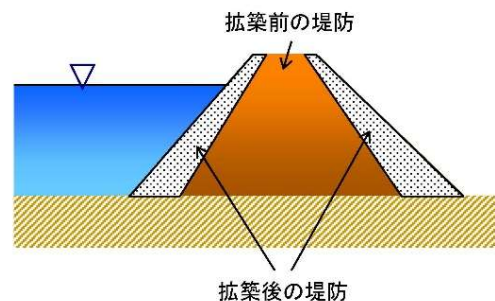
既往最大規模の洪水を安全に流下させるため、河川断面の拡幅や堤防強化などの改修工事を進めることで、治水安全度の向上を図り、住民が安心して暮らせる川づくりを目指している。

河川名	地点名	目標流量	備考
九頭竜川	中角地点	8,100m³/s	戦後最大規模の洪水（昭和36年9月型）に対応
日野川	深谷地点	5,200m³/s	戦後最大規模の洪水（昭和28年9月型）に対応
足羽川	大橋橋地点	2,400m³/s	戦後最大規模の洪水（平成16年7月）に対応

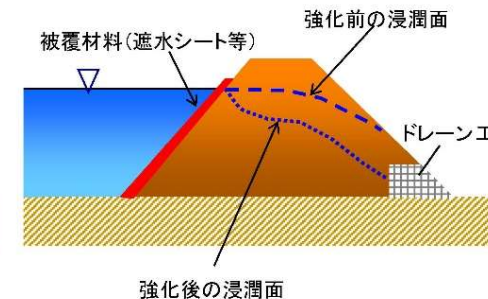
内容



堤防拡築のイメージ



堤防強化のイメージ



①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

九頭竜川

内 容	R7年度まで	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度以降	備 考
堤防設計							
堤防拡築	一式						灯明寺地区：R8～R10年度 郡町地区：R11～R12年度以降
堤防強化	31,200m	1,200m	600m	500m	500m	17,000m	恐神地区：R10年度 中藤新保地区：R12年度以降
	17,000m					200m	

進捗率 ①定量評価（令和7年度末時点）

【堤防拡築】

進捗率：61.2%

（分子）対策済み延長 31,200m

（分母）対策予定延長 51,000m

【堤防強化】

進捗率：98.8%

（分子）対策済み延長 17,000m

（分母）対策予定延長 17,200m

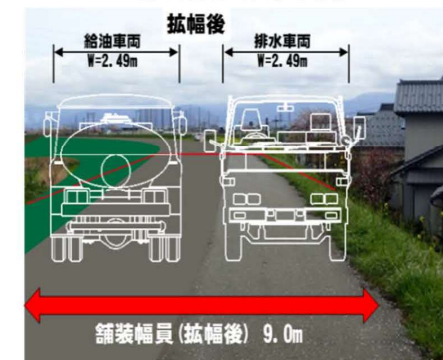
期待する効果：洪水氾濫の防止

創意工夫（参考となる情報）

堤防拡築にて堤防天端が広がることで、災害時は円滑的、効率的な排水活動が可能となり減災に寄与するほか、平常時にはサイクリングロードとして活用することでレクリエーションの場を拡大を図る。



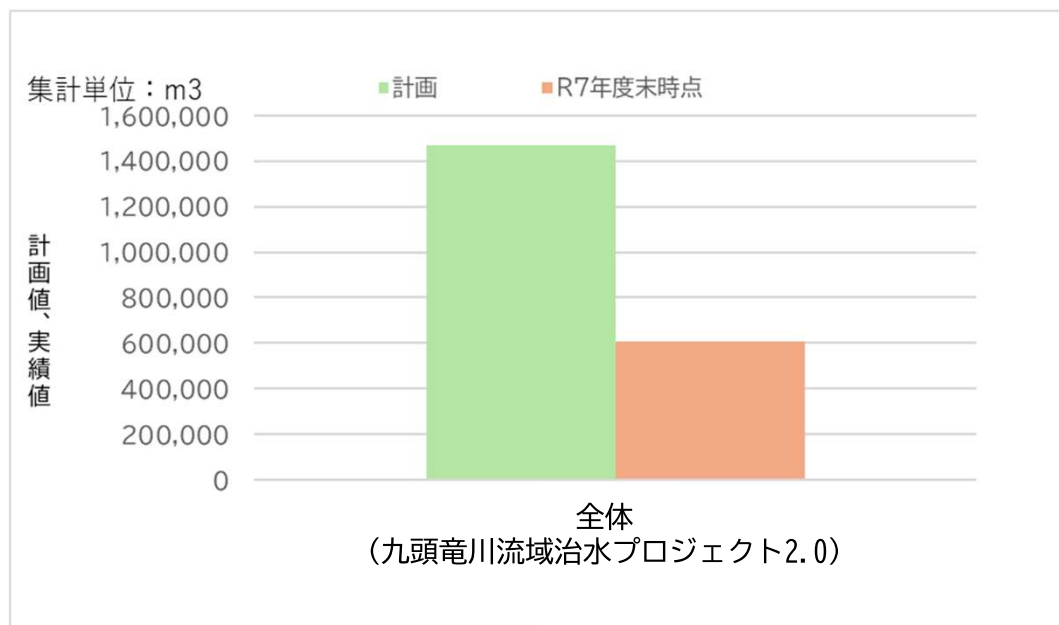
定広地区 堤防拡築工事（令和6年3月撮影）



【災害時】排水作業の効率を向上

施策の進捗状況（令和7年度末時点）

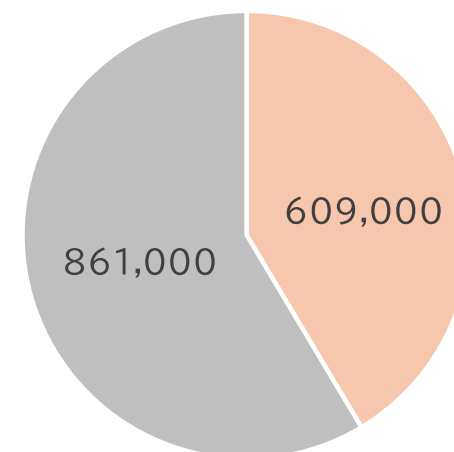
氾-1 河道掘削（水防災・湿地創出含む）



凡例：■R7年度末時点 ■R8年度以降
集計単位：m3

全体(九頭竜川流域治水プロジェクト2.0)

進捗率：41.4%

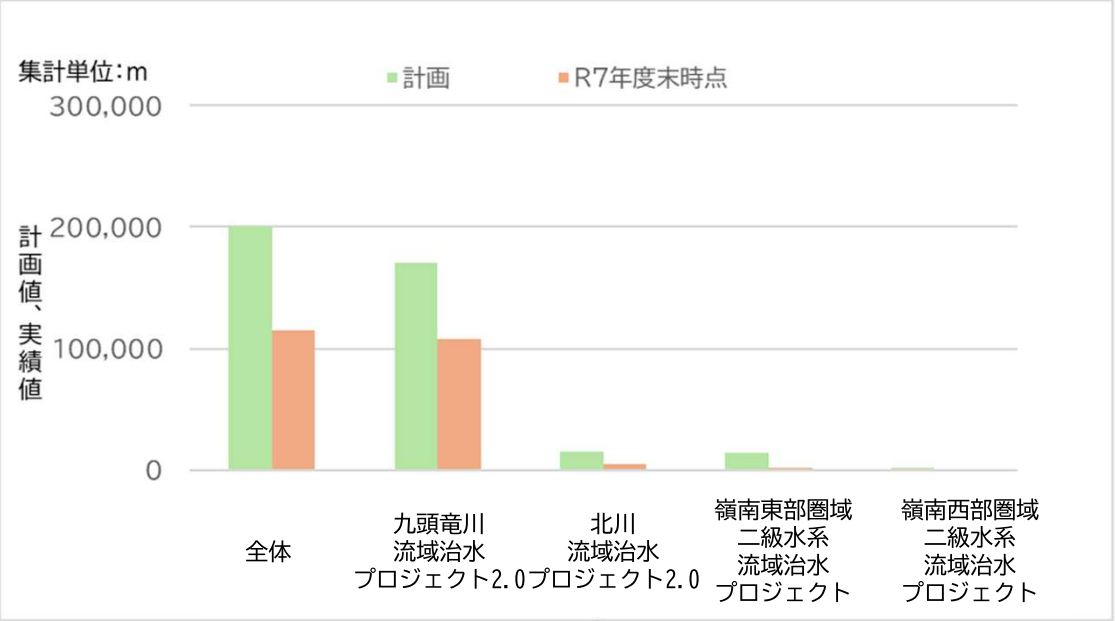


※ 河道掘削は、大規模な直轄事業を対象とし、集計

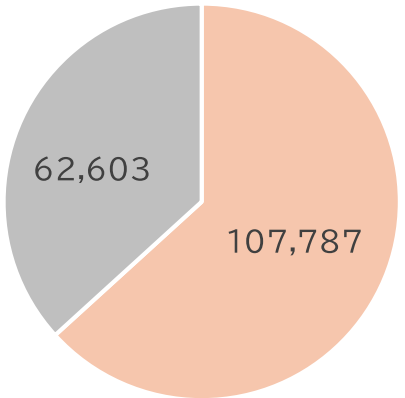
※ 各機関から進捗状況の報告があった取組を表示

施策の進捗状況（令和7年度末時点）

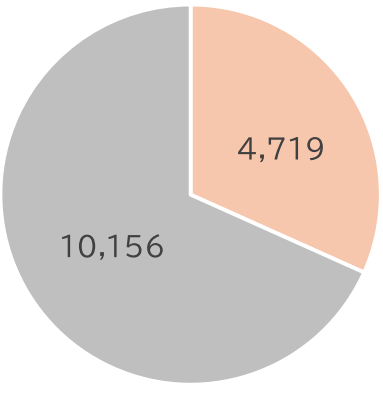
氾-2 築堤（粘強含む）、引堤、堤防強化、堤防拡築、湖岸堤



九頭竜川流域治水プロジェクト2.0
 進捗率： 63.3%

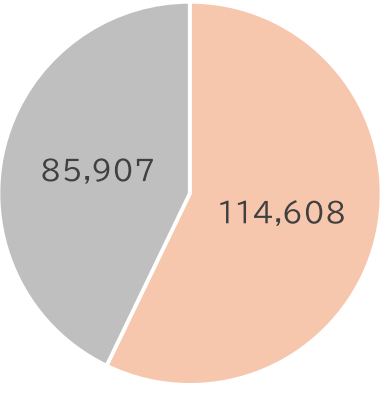


北川流域治水プロジェクト2.0
 進捗率： 31.7%

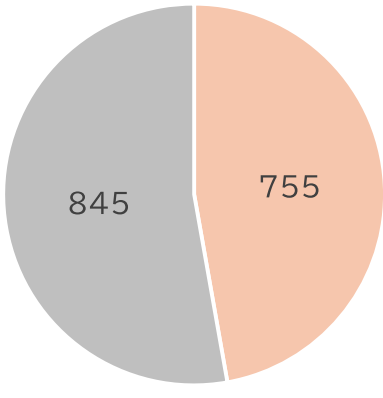
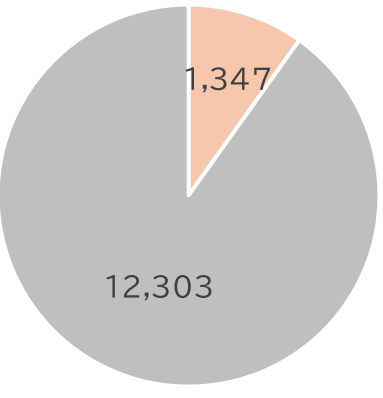


凡例： R7年度末時点 R8年度以降
 集計単位：m

全体
 進捗率： 57.2%



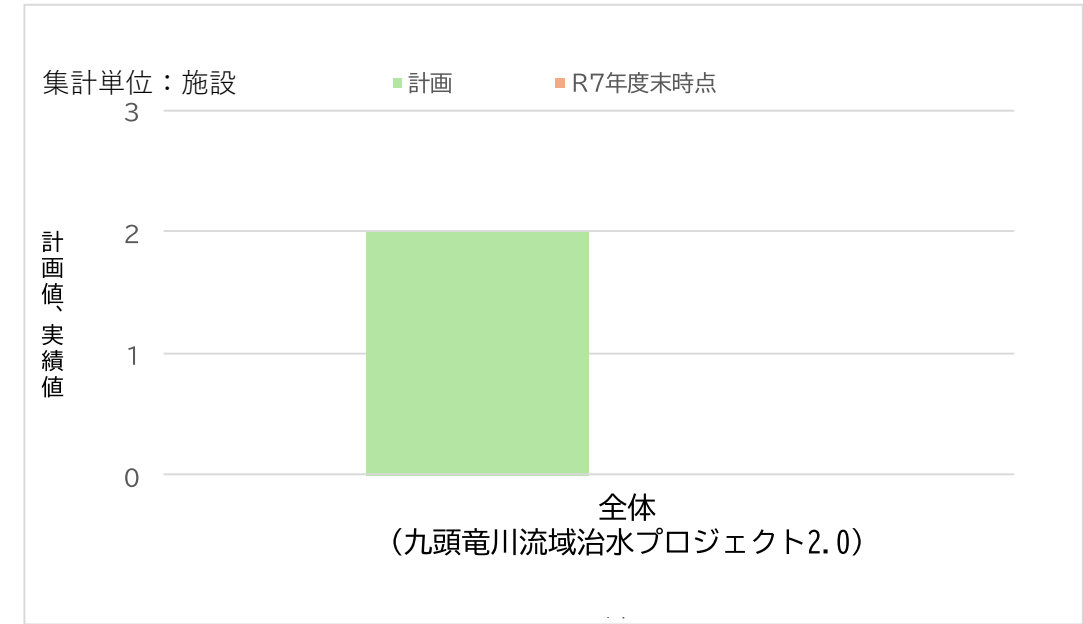
嶺南東部圏域二級水系流域治水プロジェクト 嶺南西部圏域二級水系流域治水プロジェクト
 進捗率： 9.9% 進捗率： 47.2%



※ 河川法に基づく河川整備計画の取り組みと、法河川以外の市町の取り組みを集計
 ※ 各機関から進捗状況の報告があった取組を表示

施策の進捗状況（令和7年度末時点）

氾-4 ダム（再生、流域総合水管理含む）

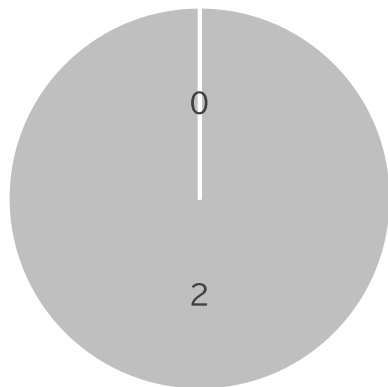


凡例： R7年度末時点 R8年度以降

集計単位：施設

全体(九頭竜川流域治水プロジェクト2.0)

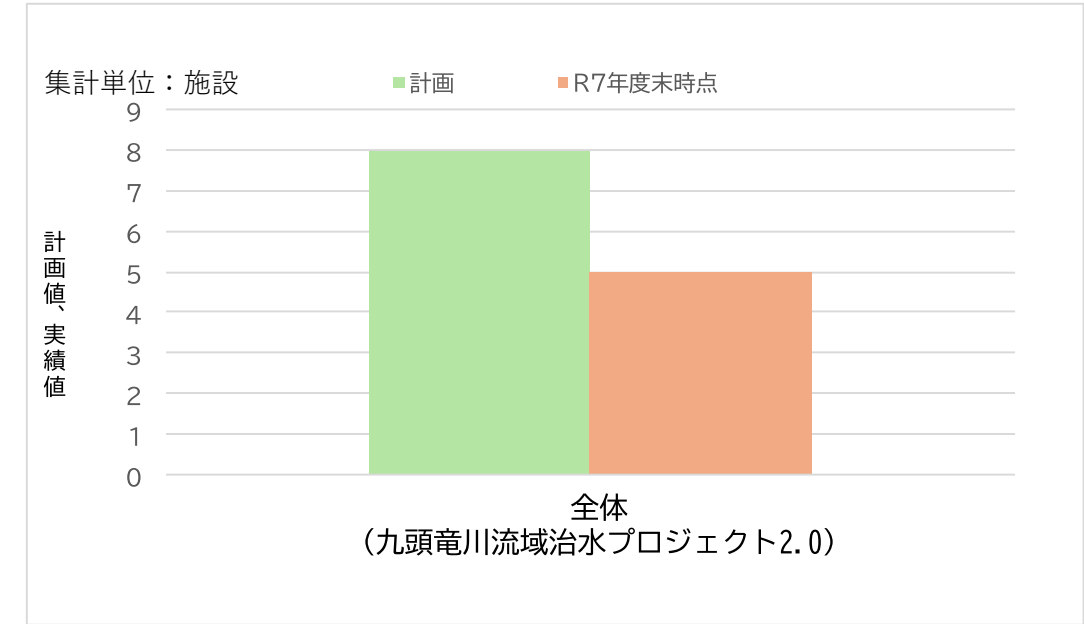
進捗率： 0.0%



※ 河川法に基づく河川整備計画の取り組みを集計

※ 各機関から進捗状況の報告があった取組を表示

氾-8 樋門改修

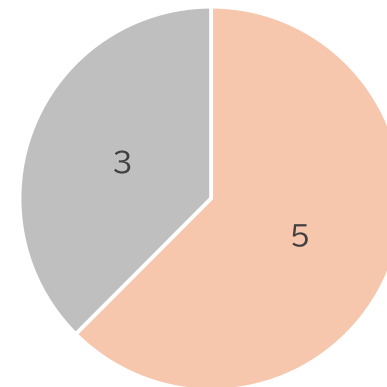


凡例： R7年度末時点 R8年度以降

集計単位：施設

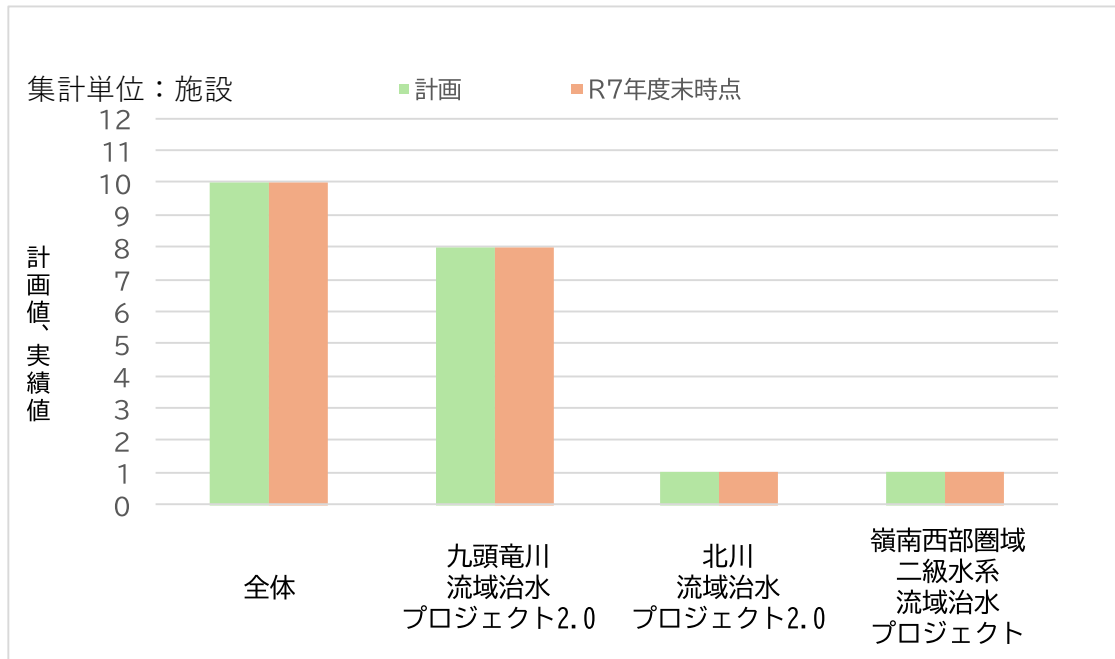
全体(九頭竜川流域治水プロジェクト2.0)

進捗率： 62.5%



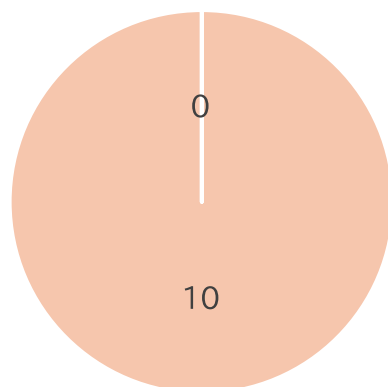
施策の進捗状況（令和7年度末時点）

氾-11 ダム事前放流



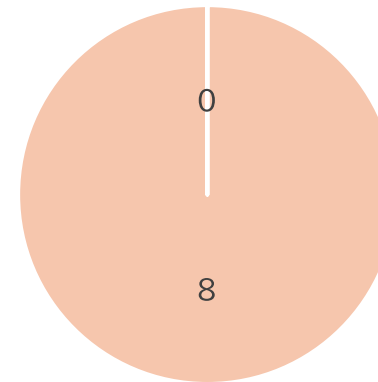
凡例： R7年度末時点
集計単位：施設

全体
進捗率： 100.0%



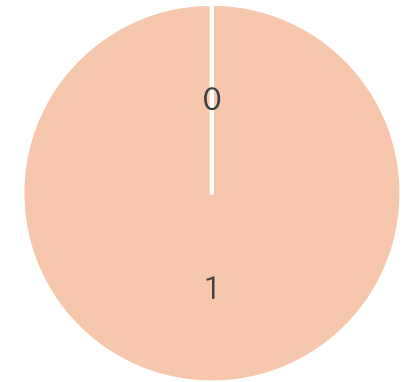
九頭竜川流域治水プロジェクト2.0

進捗率： 100.0%



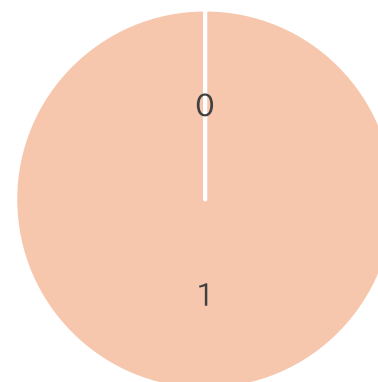
北川流域治水プロジェクト2.0

進捗率： 100.0%



嶺南西部圏域二級水系流域治水プロジェクト

進捗率： 100.0%

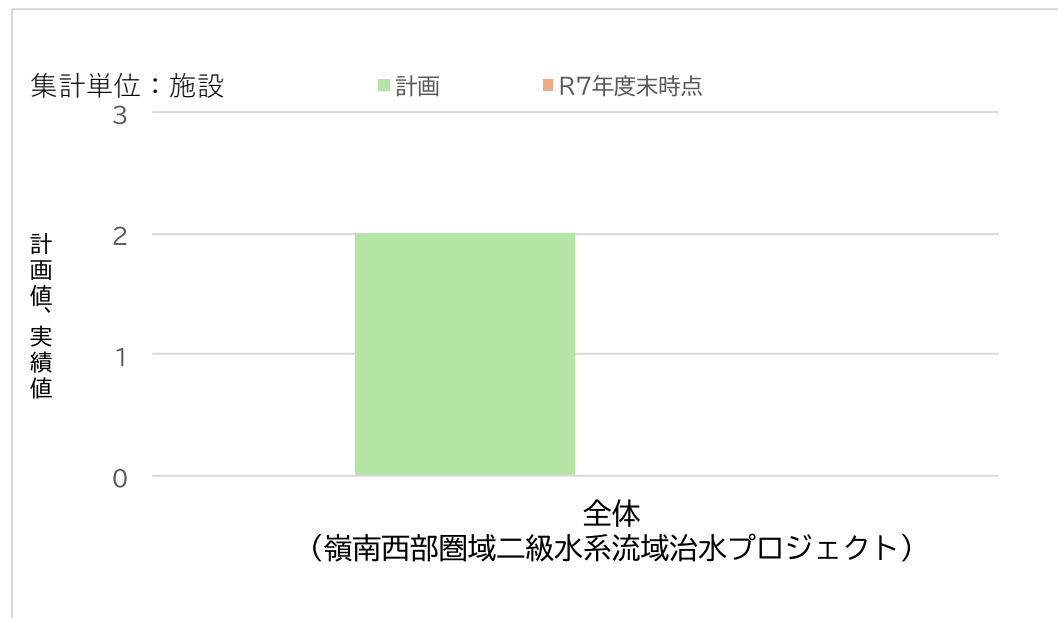


※ 国・県が管理しているダムを集計

※ 各機関から進捗状況の報告があった取組を表示

施策の進捗状況（令和7年度末時点）

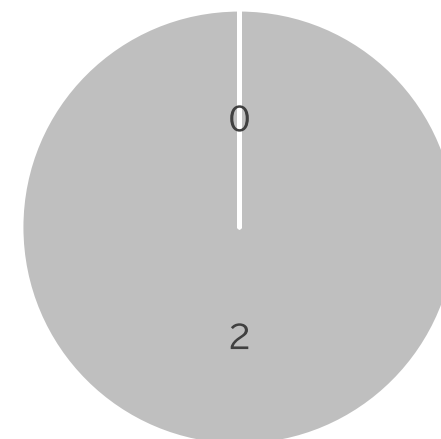
氾-13 排水施設・ポンプ（河川）



凡例： R7年度末時点 R8年度以降
集計単位：施設

全体（嶺南西部圏域二級水系流域治水プロジェクト）

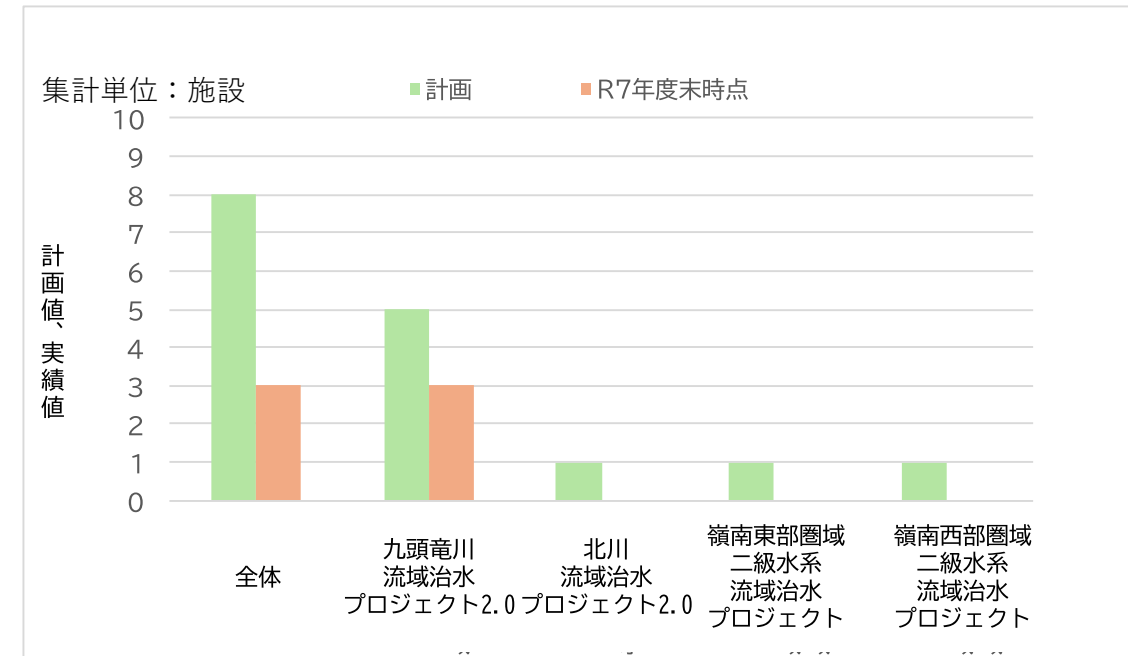
進捗率： 0.0%



- ※ 当該プロジェクトを策定以降の取り組みを集計
- ※ 各機関から進捗状況の報告があった取組を表示

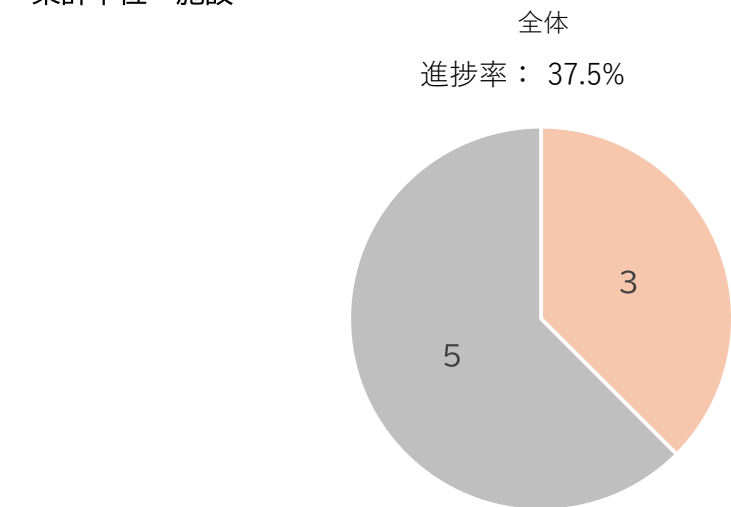
施策の進捗状況（令和7年度末時点）

汜-14 排水施設・ポンプ（下水道）



凡例：
 ■ R7年度末時点
 ■ R8年度以降

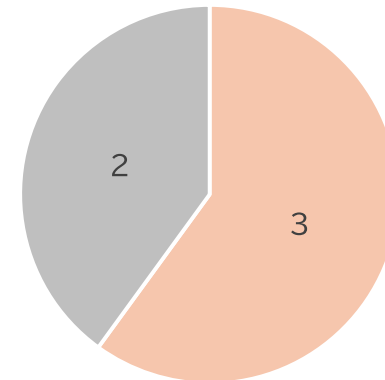
集計単位：施設



※ 下水道法に基づく雨水計画の取り組みを集計
 ※ 各機関から進捗状況の報告があった取組を表示

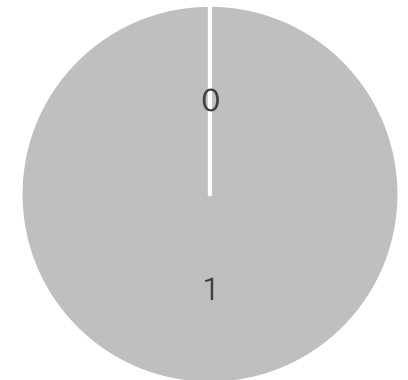
九頭竜川流域治水プロジェクト2.0

進捗率： 60.0%



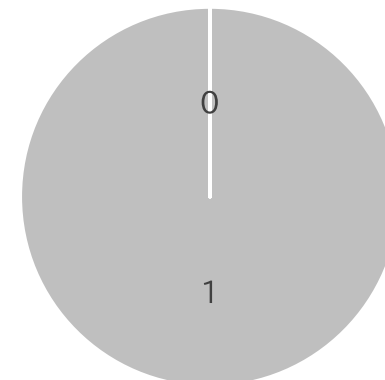
北川流域治水プロジェクト2.0

進捗率： 0.0%



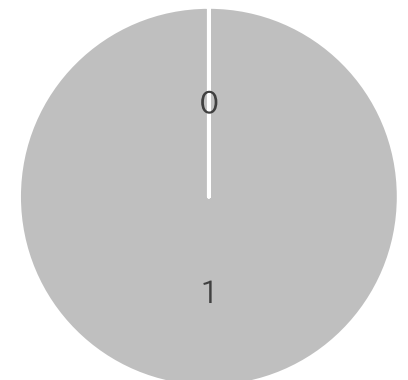
嶺南東部圏域二級水系流域治水プロジェクト

進捗率： 0.0%



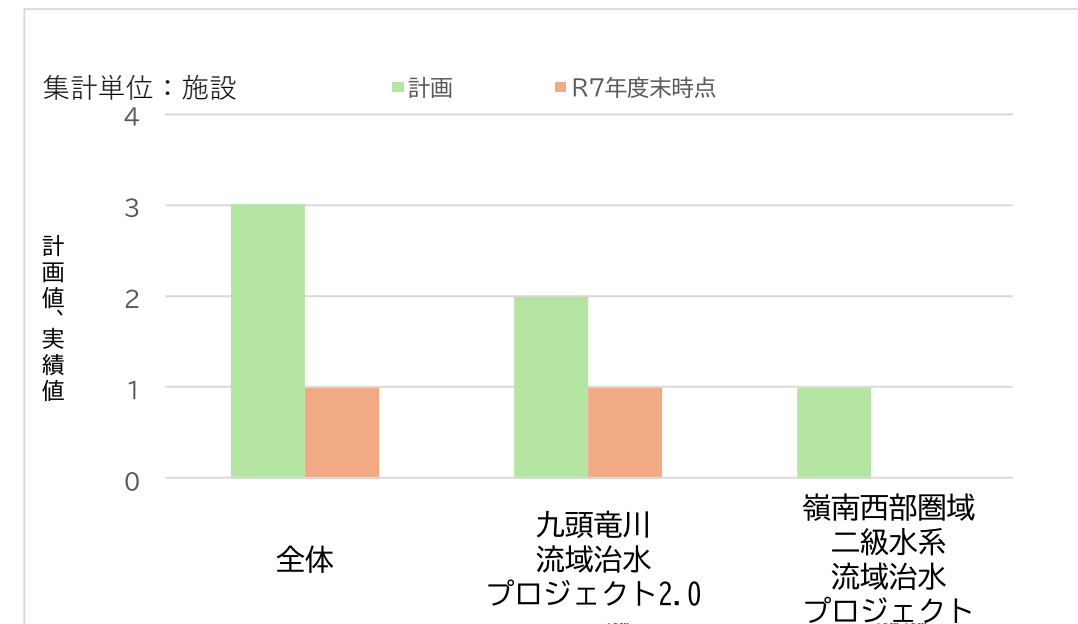
嶺南西部圏域二級水系流域治水プロジェクト

進捗率： 0.0%

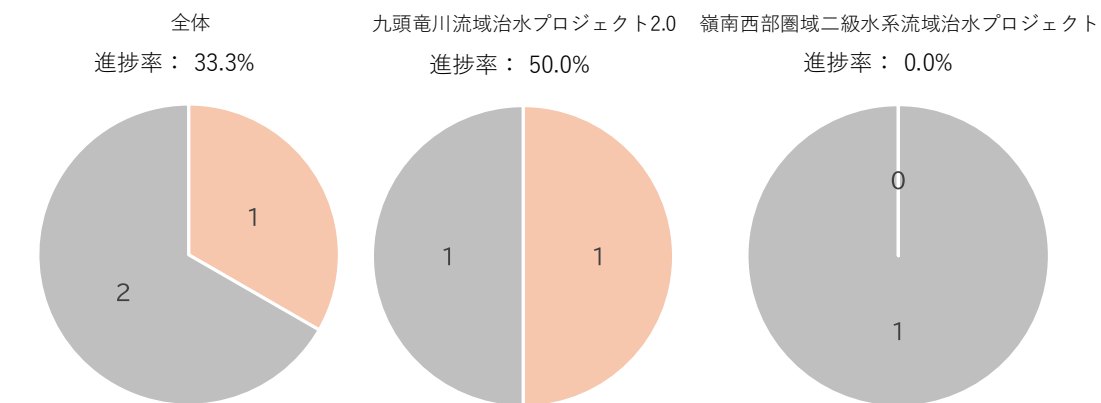


施策の進捗状況（令和7年度末時点）

氾-16 排水施設・ポンプ（普通河川・水路）

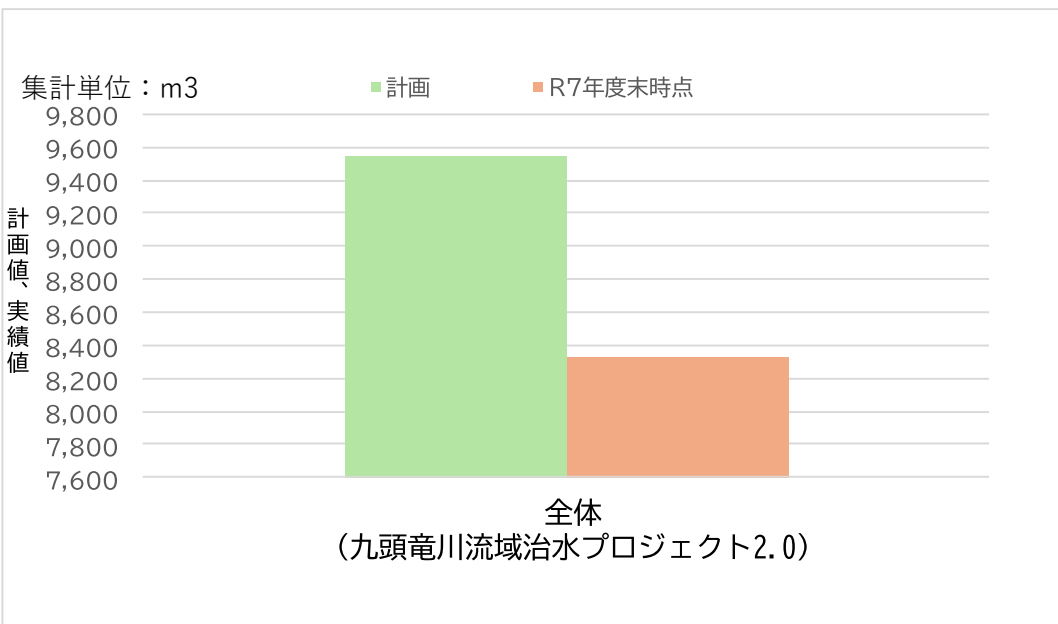


凡例： R7年度末時点 R8年度以降
集計単位：施設



※ 当該プロジェクトを策定以降の取り組みを集計
※ 各機関から進捗状況の報告があった取組を表示

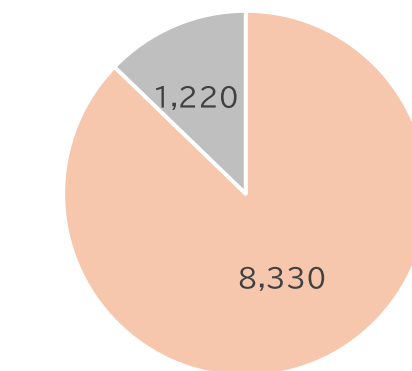
氾-17 雨水貯留浸透施設（調整池・公共施設）



凡例： R7年度末時点 R8年度以降
集計単位：m3

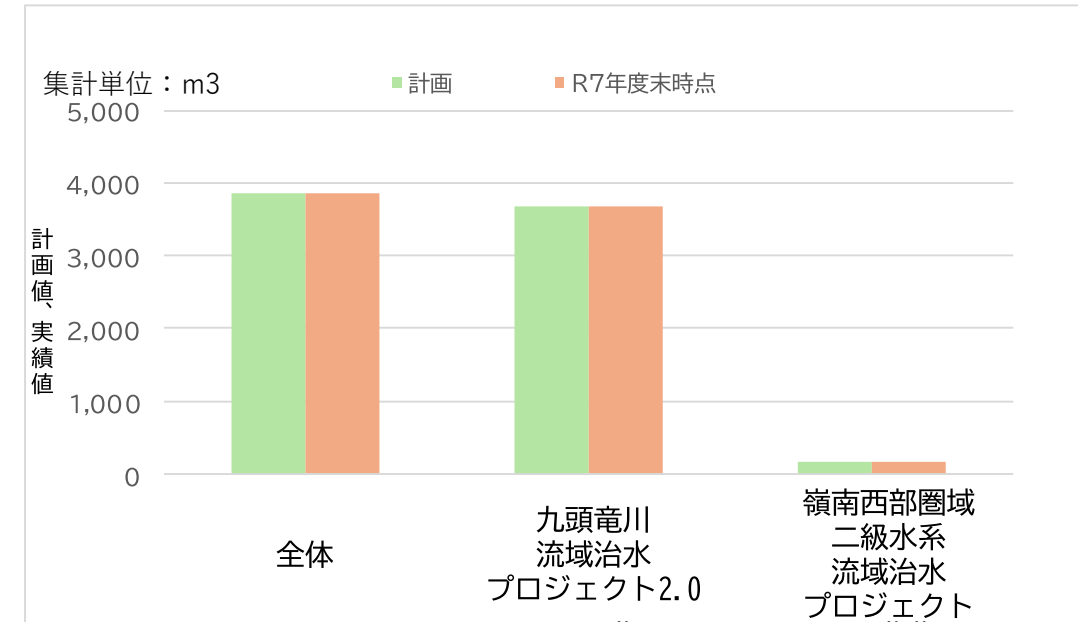
全体(九頭竜川流域治水プロジェクト2.0)

進捗率： 87.2%

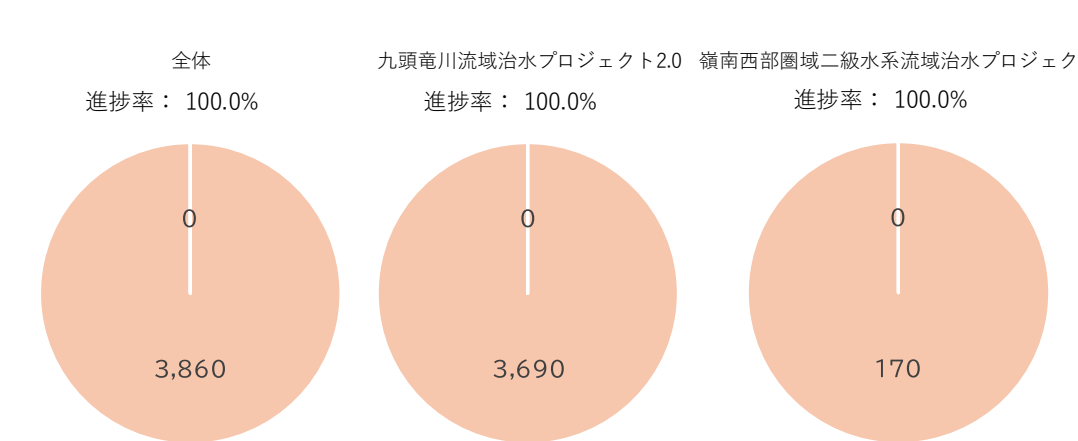


施策の進捗状況（令和7年度末時点）

氾-18 校庭貯留、公園貯留

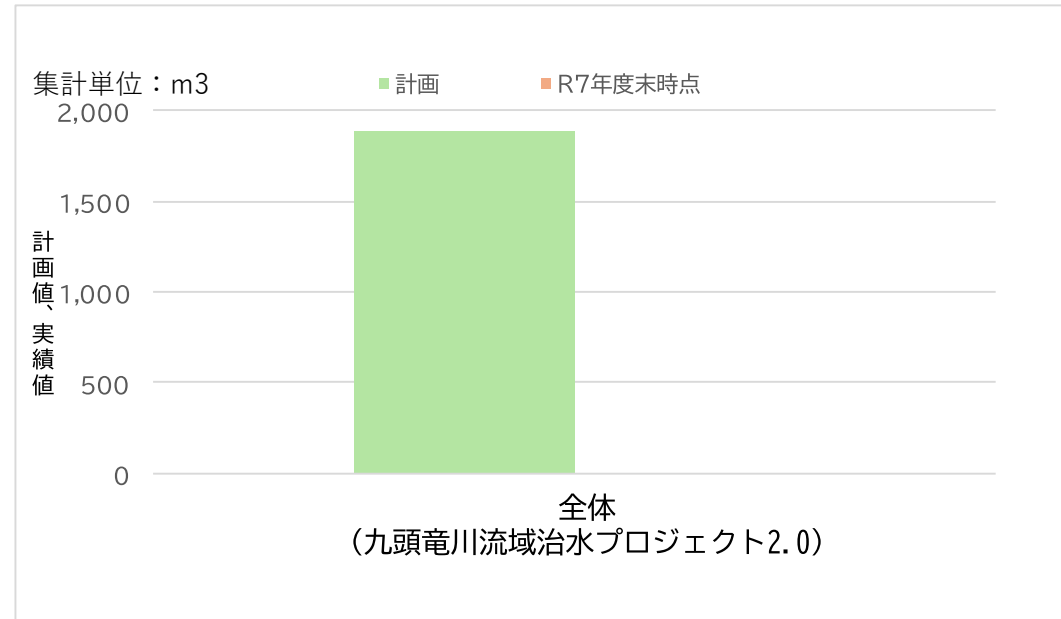


凡例：
 ■ R7年度末時点
 ■ R8年度以降

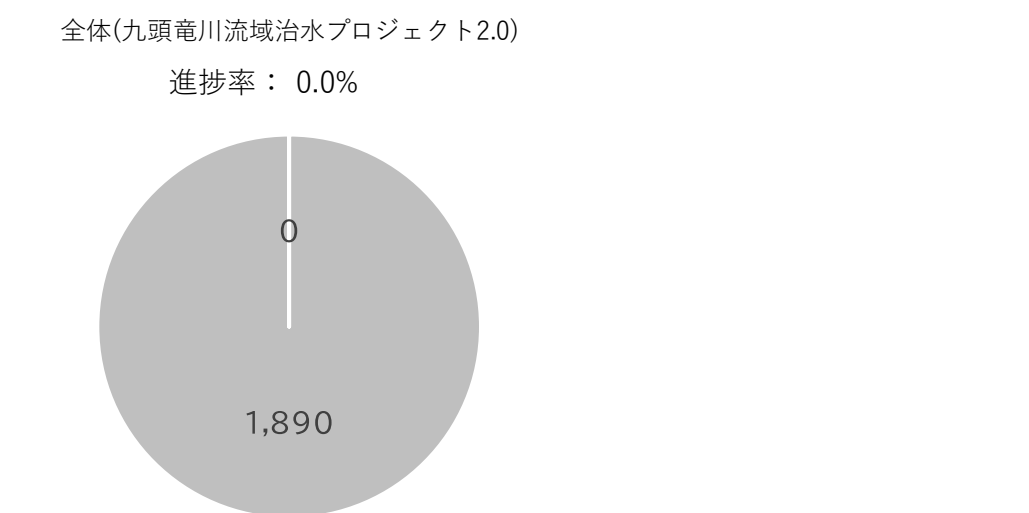


※ 当該プロジェクトを策定以降の取り組みを集計
 ※ 各機関から進捗状況の報告があった取組を表示

氾-19 雨水貯留浸透施設（下水道）



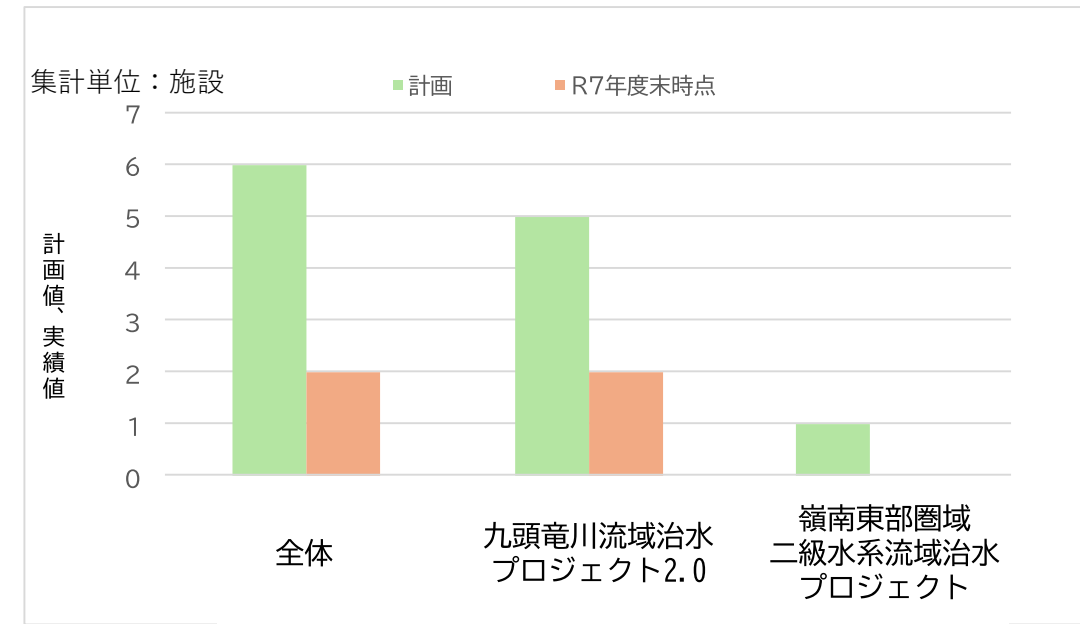
凡例：
 ■ R7年度末時点
 ■ R8年度以降



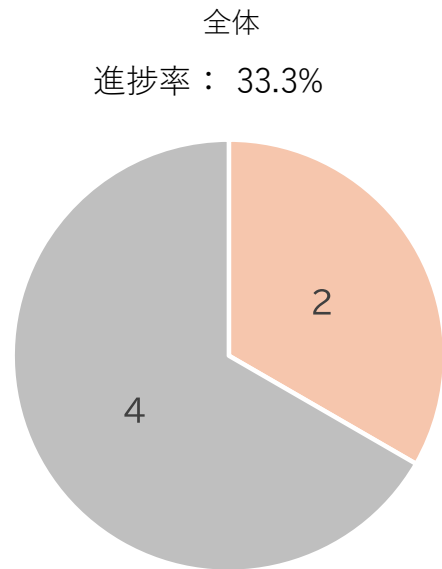
※ 下水道法に基づく雨水計画の取り組みを集計

施策の進捗状況（令和7年度末時点）

氾-21 ため池の活用（事前放流含む）

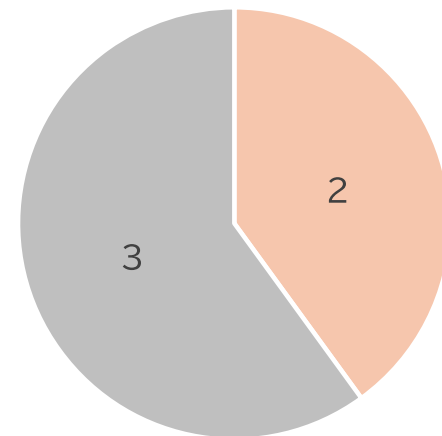


凡例： R7年度末時点 R8年度以降
集計単位：施設



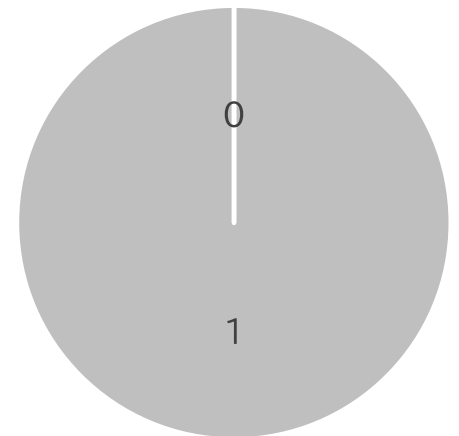
九頭竜川流域治水プロジェクト2.0

進捗率： 40.0%



嶺南東部圏域二級水系流域治水プロジェクト

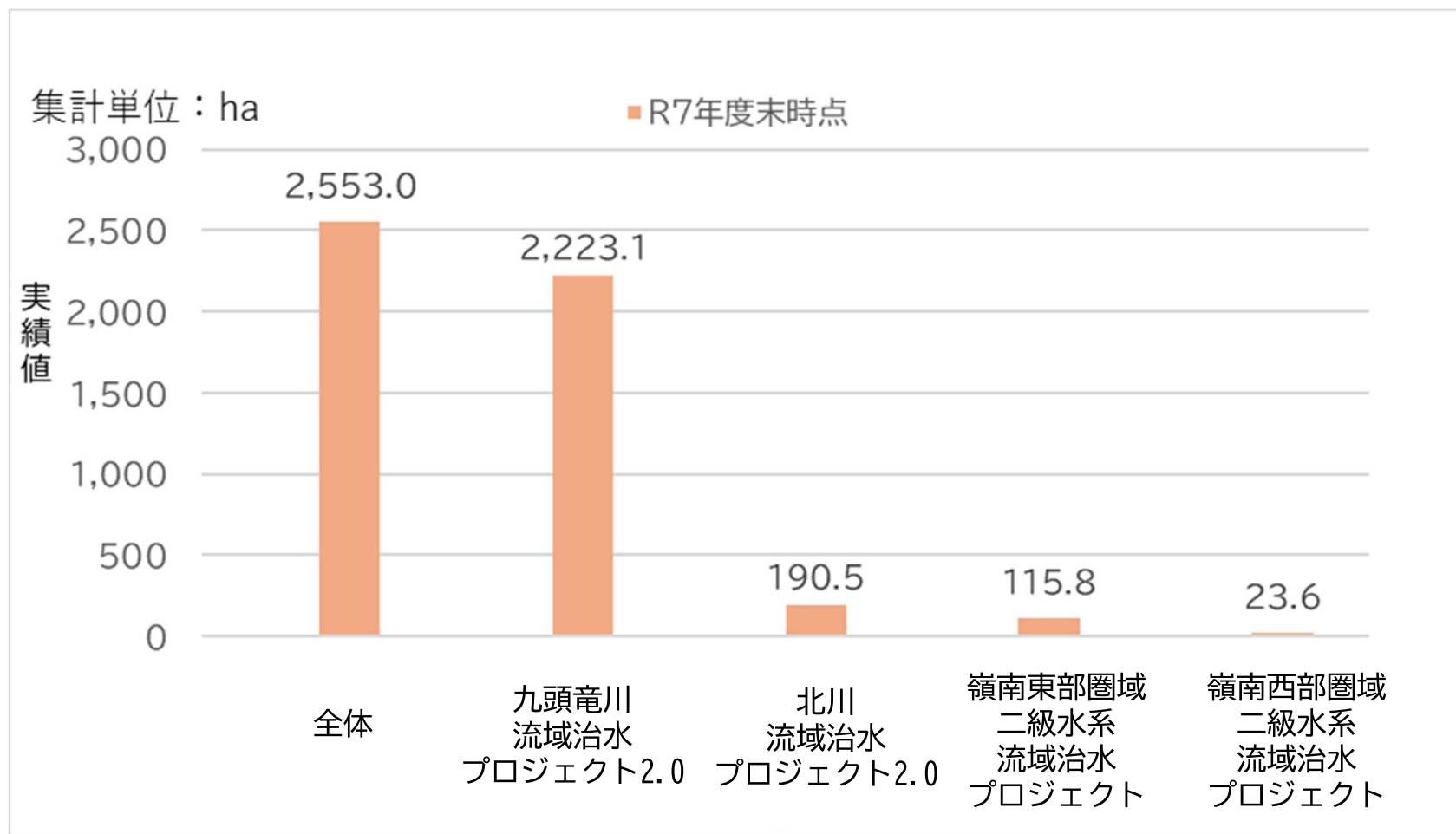
進捗率： 0.0%



※ 当該プロジェクトを策定以降の取り組みを集計
※ 各機関から進捗状況の報告があった取組を表示

施策の進捗状況（令和7年度末時点）

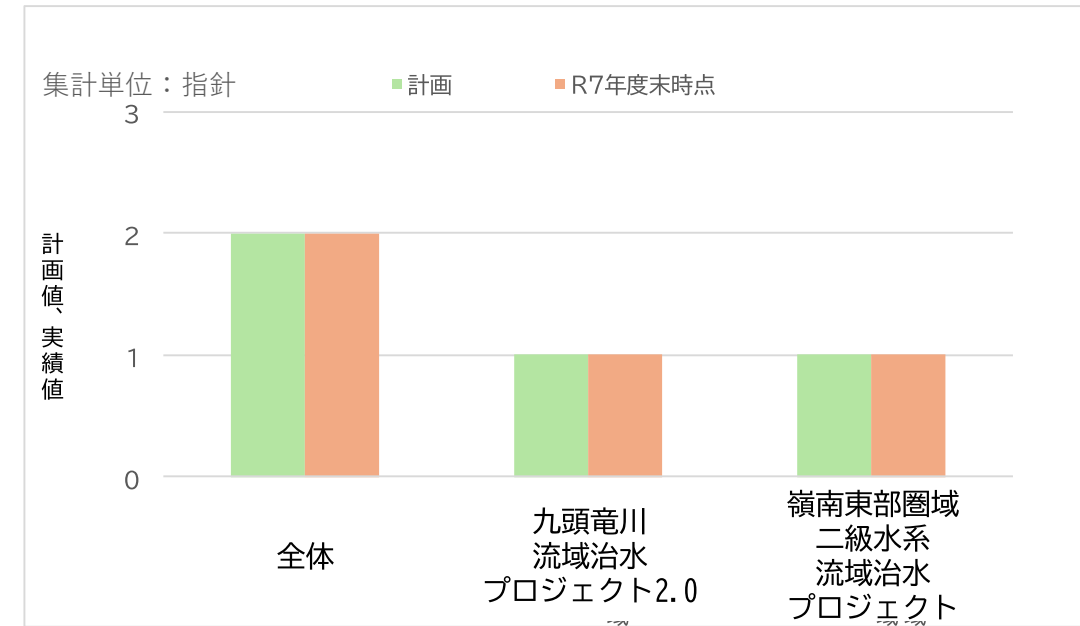
汜-22 田んぼダム



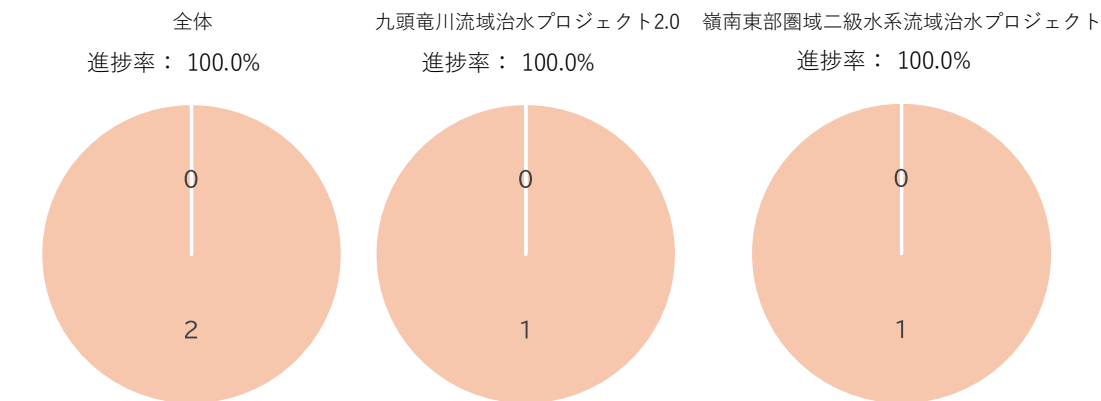
※田んぼダムは、地域や農業者の理解と協力のもとで実施される取り組みであり、行政が将来の導入計画を定めて実施するものでないため、計画値はなし

施策の進捗状況（令和7年度末時点）

被-6 居住誘導区域、防災指針

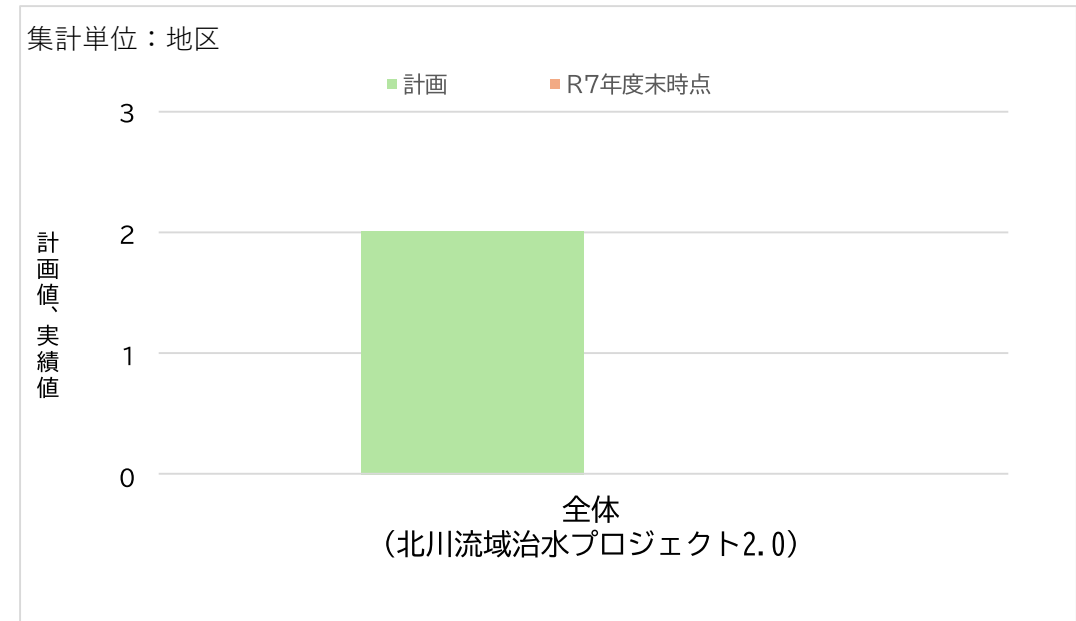


凡例： R7年度末時点 R8年度以降
集計単位：指針



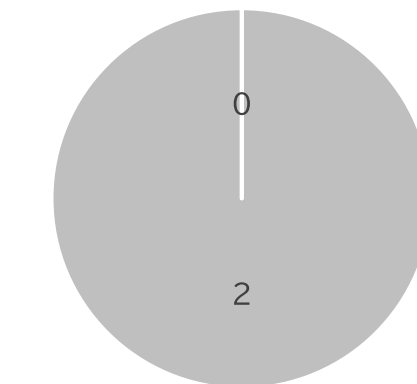
※ 当該プロジェクトを策定以降の取り組みを集計
※ 各機関から進捗状況の報告があった取組を表示

被-8 避難路・避難施設等の確保



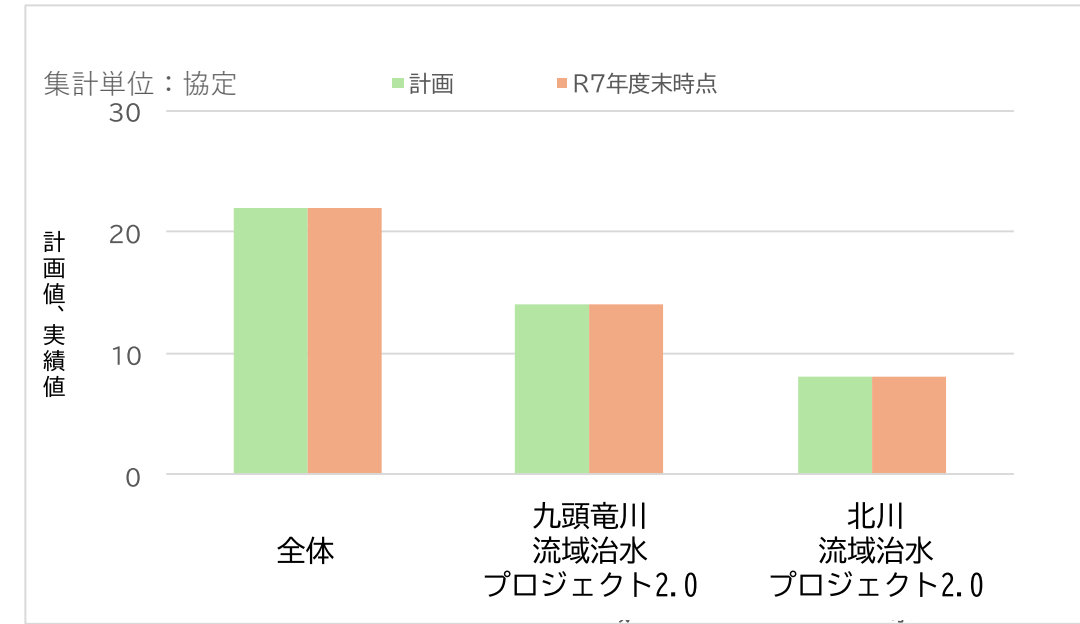
凡例： R7年度末時点 R8年度以降
集計単位：地区

全体(北川流域治水プロジェクト2.0)
進捗率： 0.0%

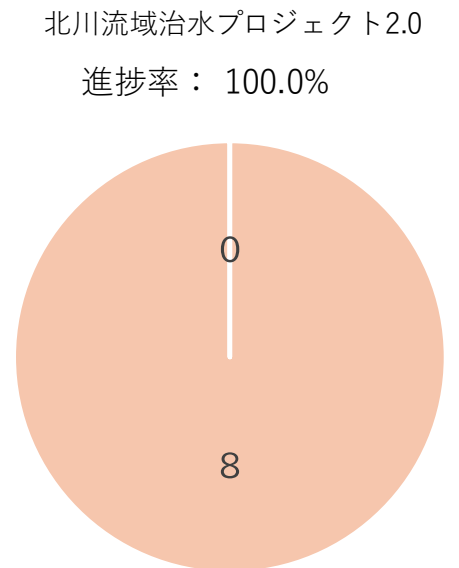
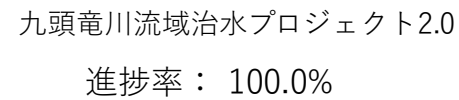
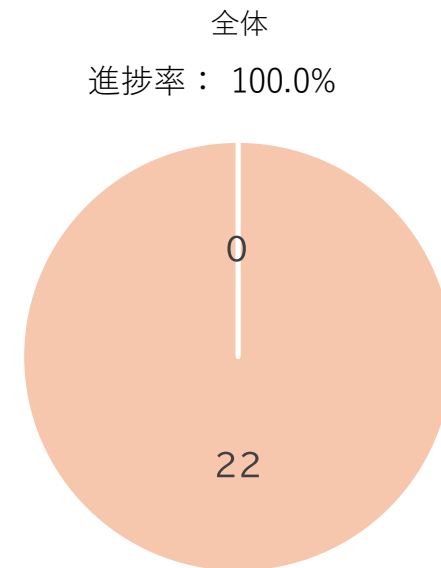


施策の進捗状況（令和7年度末時点）

復-7 地域・企業の連携による避難場所の確保



凡例： R7年度末時点 R8年度以降
集計単位：協定



※ 当該プロジェクトを策定以降の取り組みを集計
※ 各機関から進捗状況の報告があった取組を表示